

【問題】

- (1) 中間値の定理を述べよ (証明不要).
- (2) 実数値関数 $f(x)$ は閉区間 $[-1, 1]$ で連続, $f(-1) = 1/2, f(1) = -1/2, 0 < f(0) < 1$ だとする.
- (a) 方程式 $x + 1 = f(x)$ の解 α が開区間 $(-1, 0)$ に存在する事を示せ.
- (b) 方程式 $x - 1 = f(x)$ の解 β が開区間 $(0, 1)$ に存在する事を示せ.
- (c) $f(x)$ が $(-1, 1)$ で微分可能, $-1 < f'(x) < 1$ を満たすならば α, β は共に唯一つの解であり $\beta > \alpha + 1$ が成り立つ事を示せ.

(H21 首都大理学研究所数理工学専攻)

【解答】 (1) 閉区間 $[a, b]$ に於いて定義された実数値関数 $f(x)$ は連続ならば次が成立:

- ・ $f(a) < f(b)$ ならば $f(a) < \gamma < f(b)$ なる任意の γ に対し $a < c < b$ かつ $f(c) = \gamma$ となる c が存在する.
- ・ $f(b) < f(a)$ ならば $f(b) < \gamma < f(a)$ なる任意の γ に対し $a < c < b$ かつ $f(c) = \gamma$ となる c が存在する.

(2) (a) $g(x) = x + 1 - f(x)$ と置く. $g(-1) = -1/2 < 0, g(0) = 1 - f(0) > 0$ だから, 中間値の定理より $g(\alpha) = 0, -1 < \alpha < 0$ となる α が存在する. これが求めるものである.

(b) $h(x) = x - 1 - f(x)$ と置く. $h(0) = -1 + f(0) > 0, h(1) = -1/2 < 0$ だから, 中間値の定理より $h(\beta) = 0, 0 < \beta < 1$ となる β が存在する. これが求めるものである.

(c) 上述の記号を踏襲する. $g'(x) = h'(x) = 1 - f'(x) > 0$ より $g(x), h(x)$ は共に狭義単調増加. これより α, β の一意性が分かる. 今, $\beta \leq \alpha + 1$ だとする. 平均値の定理より

$$f'(\gamma) = \frac{f(\beta) - f(\alpha)}{\beta - \alpha} = \frac{\beta - 1 - \alpha - 1}{\beta - \alpha} = 1 - \frac{2}{\beta - \alpha}, \quad \alpha < \gamma < \beta$$

となる γ が存在するが, $\beta \leq \alpha + 1$ より $1 - \frac{2}{\beta - \alpha} \leq -1$ だから $-1 < f'(x) < 1$ という仮定に反する. よって $\beta < \alpha + 1$ である. □

【問題】 数列 $\{a_n\}$ を次の式で定義する：

$$a_1 = 1, \quad a_n = \frac{3a_{n-1} + 4}{2a_{n-1} + 3} \quad (n \geq 2).$$

- (1) 数列 $\{a_n\}$ は上に有界である事を示せ.
(2) 数列 $\{a_n\}$ は収束する事を示し、極限値を求めよ.

(H19 首都大理学研究科数理情報科学専攻)

【解答】 (1) n に関する帰納法により $0 < a_n < \sqrt{2}$ である事を示す. $n = 1$ のときは自明. $1 < n$ だとし, $n - 1$ までの成立を仮定する. 漸化式より $a_n > 0$ は明らか. また

$$\sqrt{2} - a_n = \frac{2\sqrt{2}a_{n-1} + 3\sqrt{2} - 3a_{n-1} - 4}{2a_{n-1} + 3} = \frac{3 - 2\sqrt{2}}{2a_{n-1} + 3}(\sqrt{2} - a_{n-1}) > 0$$

だから $a_n < \sqrt{2}$ となる. これより任意の n に対して $0 < a_n < \sqrt{2}$ が成立. 特に上に有界である.

- (2) $n \geq 2$ のとき $\lambda = \frac{3-2\sqrt{2}}{3}$ と置けば

$$0 < \frac{3 - 2\sqrt{2}}{2a_{n-1} + 3} < \lambda = \frac{3 - 2\sqrt{2}}{3} < 1$$

となる. これと (1) の計算より

$$0 < \sqrt{2} - a_n \leq \lambda(\sqrt{2} - a_{n-1}) \leq \dots \leq \lambda^{n-1}(\sqrt{2} - a_1) \xrightarrow{n \rightarrow \infty} 0.$$

従って $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \sqrt{2}$ である. □